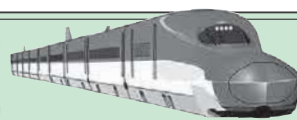


2022年度

北海道新幹線情報



北海道新幹線長万部駅舎滞留空間（高架下たまり空間）について



↑ 滞留空間イメージ図（北陸新幹線富山駅）

～これまでの議論の経緯～

長万部まちづくりアクションプラン（平成 30 年度策定）より、新幹線駅舎の機能として『多様な利用者に配慮した移動空間の確保』が求められています。
その中で、

「災害時における駅利用者等の安全を確保する施設や仕組みづくり」

→非常食の備蓄や駅舎施設を活用した一時避難場所の確保など、駅利用者や町民の安全を確保する仕組みづくり

も同時に求められています。



○これらを踏まえた方向性として、

「新幹線駅の構造特性（高高架）を活用し、津波発生時の町民や新幹線利用客の一時避難所としての機能の確保」を検討しています。

それ以外の用途（平常時の利用の仕方）で、意見が上がっている主なものを紹介します。

- （1）鉄道村・・・長万部の鉄道の歴史を展示する場所づくり
- （2）町民憩いの場・・・子どもたちの居場所づくり
- （3）滞留空間の暖房等・・・憩いの場として利用するための快適温度の空間づくり

現在、長万部高校生を主体とした新幹線駅デザイン検討委員会により、上記の意見等を含んだ滞留空間の基本構想をまとめているところです！

お問い合わせ先 新幹線推進課 ☎ 2-2450